

# 編集後記

長岡義憲

私の弟が、八年前に書いた本が映画になりました。オール上田ロケ。見慣れた景色がスクリーンに映し出される不思議さ、嬉しさ。私の家まで出てきました。弟は、小さい頃から沢山の友達に囲まれていました。ジャイアン秀(ヒデ)と呼ばれる、やんちゃで頼もしい男に成長していききました。志(こころざし)高く夢を実現するべく行動し、努力し人脈を築き、安定した高校教師という職を捨て、学校を立ち上げました。彼は、あたりまえに着実にやってきました。周りに沢山の友と仲間が居たからです。今、映画が全国で放映されようとしています。そんなジャイアンの志が、一人でも多くの方に届く事を切に願っています。



# NPO法人 侍学園 スクオーラ・今人理事長

長岡秀貴



侍学園(通称サムガク)とは、長野県上田市にある若者の自立を支援している日本一小さな学校。若年者の自立と就労を支援する民間の教育施設として、生活改善やコミュニケーション能力の醸成等を通して、社会での生き辛さに悩む若者が自分らしく充実した人生を送れるように後押しした(長岡氏公式ブログより抜粋)。

# 塚田吉和

中之条自治会報第百五十五号を発刊する事ができました。六名の編集委員とともに作ってまいりました。五年三回の発行で百五十五号の歴史。どのような経緯で、どのような方々がこの「千曲藻」を立ち上げたのでしょうか。その苦労たるや、想像に余りありません。営々と粛々と継承されていくことの大切さと素晴らしさ。私達編集委員も、その一翼を担えることに感謝しています。



原作 長岡秀貴 (中之条在住)  
主演 三浦貴大 (山口百恵さんの息子)  
監督 森谷 雄



編集委員  
長岡義憲 伊沢崇 五十里勝美 塚田吉和  
田中孝義 大庭邦敬 中村勝則

校正、印刷、すべて編集委員にお任せいただきました。印刷は城南公民館の高速輪転機を使用させていただいた関係で、例年に比べて刷り上がり品質に多少の難がありましたが、ご容赦ください。編集委員の一人、長岡君の熱い想いを受けて、全国に先駆け上映された「サムライ」をアリオに観に行ってくださいました。舞台挨拶が予定されていた二回のチケットはすべて完売。満席の客席には中之条の見知ったお顔がチラホラ。そしてスクリーンの中にもエキストラとして見知ったお顔がチラホラ。(実話)にありがちな、説明臭さもなく

テンポよく繰り広げられるストーリー。主人公ナガオカの想いに、時にぶつかり、時に共感し、学校設立に向けて奮闘し続ける青春群像。若手俳優と、それを周りにガッツリと支えるベテラン俳優陣。隣で観ていた息子夫婦の、こっそりと目頭をぬぐう姿に、世代を越えて伝わる、ナガオカの想いを確信しました。中之条の仲間の生きざまが映画になりました。誇らしい限りです。

# 伊沢崇

待望の北陸新幹線がいよいよ開通ですね。皆さん旅行などご予定はございますか。さて今年は副ブロック長と編集委員という大任を仰せつかり今まで自治会に関心のなかった私ですが一年間頑張りますので宜しくお願い致します。

# 千曲藻

第155号  
中之条自治会

# 就任のご挨拶



平成二十七年自治会長  
西沢孝夫

今年の冬は大変寒く、雪が追われる毎日でしたが、雪の様な大雪もなく有難く思っております。日一日と暖かくなってまいりましたが、自治会の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。また日頃より自治会へのご協力を賜わり誠にありがとうございます。昨年十二月の選挙により自治会長の当選通知を受けました。私自身そんな器ではございませんが、お引き受けした以上微力ではございますが、一年間頑張つてまいります。大変心配しておりますが、幸いにも副自治会長に中沢伸吉氏、会計に真野裕司氏、総務部長に塚田吉和氏と、優秀

な方に三役をお引き受けいただき心強く思っております。また、特別協議員の公民館長小林千洋氏、市議会議員小坂井二郎氏を始め、各ブロックからも有能な協議員の方々を選出して頂きましたので、皆様と協力して自治会運営にあたりたいと思っております。自治会の皆様にはご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。先月十六日、「オレオレ詐欺」「もうかります詐欺」等特殊詐欺被害防止対策座談会に出席してきました。県警や県、市、金融機関の関係者がパネリストとして市内の自治会長や防犯ボランティアら三百二十人が特殊詐欺の手口や被害の実情を学びました。私も被害の大きさにびっくりしました。平成二十六年中、長野県内の発生状況は、認知件数百九十九件、被害総額十億三千万円、

全発生件数のうち三十%が架空請求詐欺、二十六%がオレオレ詐欺、その他融資保証金詐欺、金融商品取引名目の詐欺、還付金等詐欺が続きました。上田市の発生状況は、認知件数十一件、被害総額五千九百五十万円、全発生件数のうち四十五%がオレオレ詐欺、十七%が架空請求詐欺、被害額全体の四十七%が架空請求詐欺、三十三%がオレオレ詐欺、十九%が金融商品等取引名目詐欺と続き、被害者の九十%以上が無職の高齢者との事だそうです。

詐欺に合うのは、恥ずかしいことと思えば、表に出ない被害者も大勢いると思われ、誘いの電話がかかってくる家族や身近な人、警察に相談することがますます重要。息子や孫の名を騙る電話でお金の話が出たら、詐欺と思ひ、十分注意してください。私も地域の特殊詐欺被害防止アドバイザーの立場でありますので、自治会でのコミュニケーションを大切に考えていきたいと思ひます。結びに、昨年の自治会 四役はじめ協議員の皆様、大変ご苦勞様でした。心より感謝申し上げます。また今年一年、自治会の皆様のご健康で活躍される事をご祈念申し上げます。昨年

# 退任のご挨拶



平成二十六年自治会長  
阿部二郎

今年、正月から雪の消えない日が続いておりましたが、ようやく寒さも緩みはじめ、庭には節草や福寿草が咲き出しました。会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年は自分の力量も顧みず自治会長の大役をお引き受けましたところ、いきなり今まで経験したことのない大雪に見舞われ不安の中でのスタートとなりましたが、何とか大過なく終える事が出来ました。これはひとえに協議員の皆様はじめ会員の皆様の温かいご支援、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

各地に大きな被害をもたらした年でした。中之条でもいつ何時、災害が起きるとも限りません。いざというときに頼りになるのは、お隣さんや、ご近所の人たちです。普段からご近所同士のお付き合いが大切ではないでしょうか。お互いに助け合い、協力し合つてこそ安心して暮らしていけるのだと思ひます。春と秋の環境整備作業で協力があったり、各ブロックや公民館の行事などに参加して会員の方々が親しくなれたらと思ひます。公民館活動の中の各クラブでは、大変魅力ある活動をしていると思ひますが、新規の入会者が少なく、会員が高齢化し減少しているようです。興味のある方は、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。私も昨年はほとんどできなかった卓球を、今年は卓球同好会の皆さんと楽しみたいと思ひます。本年度の自治会四役さんはじめ役員の皆様方は、力量、経験ともに豊かで自治会発展のために多いに寄与されるものと思ひます。終わりに自治会のご発展と会員の皆様のご繁栄とご多幸を祈念申し上げます。挨拶といたします。



# 平成二十七年 新年総会報告

副自治会長 中沢 伸吉



平成二十七年一月十一日午後一時から中之条公民館において、自治会定期総会が開催されました。

冒頭、司会者の西沢俊朗副自治会長から当日の出席者と委任状の総数が過半数に達し、総会が成立した旨の報告後、阿部二郎自治会長から、平成二十六年度の実績報告が行われました。

春先の大雪については想定外の積雪量であり、自治会内の自治会員の困窮対策のために行政の助成金をもとに、除雪機を購入し中之条自治会館に設置いたしました。

土木環境整備については、防犯灯のLED変更工事、道路工事、南小学校前の舗装修理、第3ブロック水路蓋改修工事が行われました。

続いて、桑原秀明会計より一般会計、コミュニティ会館建設会計、特別会計、上田わっしょい会計の収支報告が行われました。

次に中沢和彦公民館主事から、公民館会計の収支報告が行われました。

以上の収支報告に対し、中澤照夫監査委員から、いずれの会計についても、適正に処理されていた旨の監査報告がありました。

次に墓地緑地管理委員の田中利明念仏堂会計より収支報告がありました。とくに質疑もなく満場一致で承認されました。

続いて、西沢俊朗副自治会長より新役員の紹介後、阿部二郎自治会長退任挨拶、西沢孝夫新自治会長就任の挨拶がありました。

次に、西沢俊朗氏を議長に選出し、書記に長岡義憲氏、中村勝則氏、議事録署名名人に田中孝義氏、小林将氏が議長より指名され議事に入りました。

第一号議案  
(平成二十七年年度収支予算案について)  
真野裕司会計より、提案説明があり予算案は満場一致で承認されました。

第二号議案  
(平成二十七年年度会計監査員選出について)  
中沢和彦氏、矢島省吾氏が推薦され承認されました。

第三号議案  
(その他について)  
第三ブロック西沢誠氏より公民館大広間量の老朽化が見られるとの意見があり、



太鼓を鳴らし、道祖神祭のおふれに回る子供達

量がよいか板張りのフロアー化検討を、との指摘がありました。

第二ブロック布施広氏より予算案には賛成であるが、繰越金については、特別会計に予算を振り分け特別会計の金額を増やしてとの提案がありました。

新年度役員からの二つの提案に対し、今年度協議会課題として取り上げると答弁がありました。

これにより、議案が承認され、総会が終了いたしました。

引き続き、恒例の新年祝賀会が盛大に行われました。

最後に、一年間自治会運営にご尽力された旧役員の皆様のご苦勞に感謝し、総会報告と致します。

# 市政報告

市議会議員 小坂井 二郎



西沢孝夫新自治会長のもとで、平成二十七年年度がスタートを致しました。阿部二郎前自治会長と共に、一年間の自治会運営にご尽力をいただいた役員の皆様をはじめ、公民館や各団体の皆様には、心より御礼を申し上げます。昨年の十月二日にオープンした、「サントミュージゼ」(交流文化芸術センター。上田市立美術館)は、こけら落とし公演として「さだまさしコンサート」や、「NHK交響楽団上演公演」、蜷川幸雄氏演出の「ジュリアス・シーザー」宝塚星組による「風と共に去りぬ」上田公演、さらには新国立劇場バレエ団の「シンデレラ」など、日頃は東京まで行かなくては見られない多くの作品が上演されました。

自分はこのごとき抽選にはハズレましたが、区民の皆様の中には好運に恵まれた方も居るのではと思います。特に「さだまさしコンサート」は、さだ企業のご配慮

により、通常通常のファンクラブ会員への先行販売をやらざ、上田市民枠をとっていたのだので、生さだまさしを楽しんでいただけた事と思います。

これからも、多くの市民が集える施設として、活用されればと思います。工事が進んでいた「市道小牧丸子線は、平成二十三年四月の落石事故以来、一時通行止めになるなど市民の皆様にご迷惑お掛けして来ましたが、工事の進行も早く、ようやく七月中旬の完成となりました。これから、千曲川の増水や冬の凍結による事故も緩和される事と思えます。

今年、北陸新幹線の開業が三月十四日に決まり、一ヶ月前の二月十四日からチケットが売り出されました。上田は金沢間の料金は九千五百二十円ほど高くなりそうです。また、善光寺御開帳が四月五日〜五月三十日まで開催されます。

NHK大河ドラマ「真田丸」の撮影開始や上田城千本桜まつりもあり、上田市周辺は、大いに盛り上がる事が期待されます。

三月議会では、「真田丸」関連で約九億円の予算が計上されました。上田・真田地域の道路整備や施設の改修ですが、観光客の皆様を、おもてなしの心で迎えます。

# 千曲のもくず俳句会

平成二十七年三月 板垣 峰水選

戴きて香り楽しむ路の塔  
春中ば慕われし去る墨画の師  
赤松碑梅一輪に戻り来る  
城あとに春待ち人の笑い声  
行く春や明日は大賀で琴弾かむ  
菜の花の黄鮮やかな畑に入る  
桜並木千本桜や犬は無視  
山桜ひっそりと咲く太郎山  
南より桜前線の上田着  
山桜おごらぬ姿見えかくれ  
桜咲き胸のよどみが消えてゆく  
花冷えに襟立て急ぐ子供達  
老さくら母の忌のよに散り終わる  
記念樹の桜遠くの孫想う  
おしゃべりは友の手作り桜餅  
春の水勢い増して川流る  
春つらら千曲を渡る電車笛  
流れ急ぐ千曲に春の訪ずれり  
庭植の一本桜咲き出せり  
山ざくら一棟越えて又一棟  
ポールける男女の生徒春の庭  
北へ向く児童の像や春日受け  
父母の想い出桜今さかり  
子ら想う思いのままに桜満つ  
エプロンの手伝ひ踊るひなやかに  
岩清水器につめて場所ゆづる  
ツバメ来し休むことなく飛び交す  
春が来る力ラスの群集千曲川  
庭植えの枝垂れ桜咲き初めし  
年ごとに城址の桜見に通う

山岸 弘明  
小坂井 二郎  
山岸 久子  
中澤 幾重  
中澤 まつ子  
田中 正雄  
山岸 昌子  
傘木 敬子  
倉島 政夫  
山辺 真砂子  
片山 貞子  
斉藤 すみ江  
笹木 みつ子  
宮尾 くに



# 宮川神社より

二十七年総代 吉原 修一



氏子会員のお誘い  
本年度神社総会において、神社損傷箇所補修工事と、危険枝の伐採が承認され、本年度に着手されます。

枝伐採には、改修委員長と交渉を、数名の改修委員が市と交渉をし、助成金を頂くことが出来ました。自治会からも応援を頂き、おかげさまで元気な神社を皆様とお守りして行くことが出来ます。伝統ある神社を伝承して行くには氏子会のお力が不可欠です。神社の歴史を紹介し、氏子会員のお誘いを申し上げます。

宮川神社は、小県郡史に、正元元年(一一二五)八幡宮再建とあり、永正四年(一五〇七)大洪水により、宮方に遷座されたとあります。

後世になり、武田信玄と、村上義清が死闘を繰り返した上田原合戦となります。武田の古例により、中之条村人が武運長久を祈って神繩を奉納し、参戦したとあります。

今でも正月には神繩を張り渡し、県下でも例のない神事とされています。  
(前総代 西澤信義氏引用)

春爛漫の春祭り、皆笑顔の豊作秋祭り、今年も無事過ごせた感謝の二年詣り、真に宮川神社は「中ん条人」のパワースポット。この地に住めば皆「中ん条人」参拝済ませば心落ち着き、清々しさが心に残るだけ。お出掛け下さい。

◎ 今後の行事予定

三月二十二日 新入学児童安全祈願祭  
ソフトボール部必勝祈願祭  
四月十一日〜十二日 春祭り  
四月十日〜十一日 春祭り  
十二月二十日 大祓い  
十二月三十一日 二年詣  
翌年  
一月一日 初詣  
一月十日 神繩張り

平成二十七年 宮係  
新道 吉原 修一  
上組 斉藤 嘉市  
下組 中沢 正利  
宮方 阿部 二郎  
柳堂 関 和義  
六工東 上条 隆男  
六工南 中沢 章匡

お電話お待ちしております。



中之条道祖神祭 今昔物語

取材協力 和田 貢さん

道祖神とは、厄災の侵入防止や子孫繁栄等を祈願するために村の守り神として主に道の辻に祀られている民間信仰の石仏



戦前までの道祖神祭は、小学生男子のみのお祭り。大人は一切、手も口も出さない、子供達だけのお祭りでした。女子が参加したのは、戦後世の中が落ち着いてきた頃からでした。



小学6年生の兄ちゃんの一人が「大頭領」、他の6年生は「頭領」となり、地区の後輩を仕切り完全なピラミッド構造の縦社会を作っていました。

11月頃から、準備が始まります。町中から、ムシロやカイコ籠を集めて、道祖神を囲うように支柱を立てる穴を掘ります。凍っても穴がふさがらないように、モミ殻を詰めておきます。

「違う地域の小屋を、壊しに行ったもんだ」と和田さん  
「学校に行くと仕返しあるから、兄ちゃん達のあとに金魚のフンみたいにくっついてたもんだ」と

私が生まれる前から中之条に道祖神祭はあったよね私も小学校に入って大きな兄ちゃんのうしろについて徒党を組んで遊んでもらったものだよ



昭和初期の頃の道祖神祭の風景 (公民館に展示された資料より)



さあさあ！腹の中から温ったまってくださいね～

暖かい、温かい思いやりがうれしいお祭りです

写真提供 公民館会計 藤井健一さん



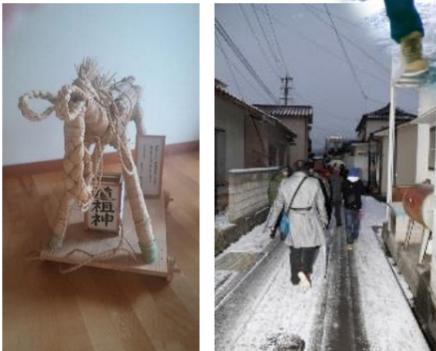
旧区割りがまだ生きている道祖神祭り  
「新道1・新道2・宮方・柳堂・六工・上組・下組・四ツ屋県住」ところが現在の8ブロックで分けると道祖神がなくなる地域と、2つある地域が出来てしまいますいつかは消えていってしまう旧地名・・・どうしたらよいか・・・模索中です



「お賽銭で買った文房具を、大頭領が分けるんだが物の何にも無かった時代だから、兄ちゃん達がもらうノートや鉛筆が羨ましくてなあ」と和田さん



それぞれの地域に、継承されている特色がありおでんだったり、おかきだったり、つけものだったり甘茶とともにお参りに来てくれる住民の皆様に振舞われます



毎年(今年は1月31日)夕方6時、自治会、公民館、PTAの役員さん達が新道にある道祖神に、100円玉8枚をポケットに忍ばせて集合します。大体1時間かけて、8箇所の道祖神を回ります。

暗くなりかけた路地裏の雪道を歩きますもらったミカンやお菓子でポケットは一杯心もほんわかと温かくなっていきます

「家から三つ、お供えの餅を持っていくと、違う家の餅を一つ、お返ししてくれるんだが、時々甘い餅があって、もちろん砂糖じゃなくて、合成ものさ。それでもうれしくてなあ・・・それほど、何にも無かった時代だったけど、毎日が楽しかったね！」



各団体責任者の皆様

敬称略

精穀所 組合長 小坂井幹雄



山林組合 組合長 田中忠男



農業協議会 会長 西沢啓男



営農推進委員会 委員長 田中智志



第六分団 班長 中沢政彦



生活環境部 部長 高田進



土木部 部長 輿水勝男



安全部 部長 神谷博継



防犯部 部長 関文博



あんたが主役!

公民館長 小林千洋



「あんたが大将」もとい「あんたが主役!」西沢孝夫自治会長より本年度公民館長を拝命致しました小林です。「あんたが大将」懐かしく思われる方もいらっしゃるんじゃないでしょうか。一九七七年の海援隊のヒット曲で、題名だけ脳裏に刻まれています。一直線に進む新人の私は、あちらこちらで軋轢を生じていました。悩む中で、この言葉をつぶやいていたことを思い出します。職場のボスが、そつと教えてくれた言葉もあります。「俺が俺のガで生きる」以来、この二つの言葉が、頑固な私にとって最高の人生訓の一つとなりました。公民館活動においては、区民の皆さんが主役に他なりません。公民館の役割は、その主役が主役として活動することにより助成することではないでしょうか。私も公民館運営

委員は、主役を引き立てる脇役、こんなスタンスでこの一年を頑張つてまいりたいと思っております。ところで皆さん、「活きのいい魚」という言葉があります。皆さんはどんなふうに住んでいますか? 「終活」しているから活きている、なんてのはダメです。「これ」をしていたら楽しいもつと「これ」を上手にしたい。健康の為に「これ」を欲しい等。人間は、夢や希望、欲望を持っていると生き生きと生きているそうです。皆さんは、どんな「これ」をお持ちでしょうか。公民館では是非「これ」をやって下さい。活きのいい人間になつて人生一〇〇年、楽しみましょう。ちなみに私の「これ」とは、囲碁と自然農法による自給自足。あこがれているばかりで一步も前に進まなかったのですが、今般、囲碁クラブが初心者指導して下さるということで入会させて頂きました。農業については、もくず会にまきから収穫、蕎麦打ちまで計画されていて今からわくわくしています。皆さんも自身の「これ」に積極的に取り組んで下さい。公民館も全力でバックアップ致します。新しいクラブが立ち上がっていくことを期待します。

- 館長を拝命するに当たつて、前館長の中澤史典さんに副館長をお願いし、前会計の中澤和彦さんに主事をお願いしました。異例のことでもあり記して感謝の意を表します。
★本年度行事予定
★体育関係
マレットゴルフ大会 (五月)
区民球技大会 (六月)
城南区運動会 (十月)
★文化活動
各部発表・合同懇親会 (四月)
上田わっしょい (七月)
ふるさと夏祭り (八月)
しいのみ園合同文化祭
第四一回城南地区文化祭
各部活動報告会
★社会教育活動
人権教育講座
青少年健全育成懇談会
人権同和教育懇談会
平成二十七年役員及び運営委員紹介(敬称略)
館長 小林千洋
副館長 中澤史典
主事 中澤和彦
会計 藤井健一
青少年育成指導員金子厚志
自治委員
第一ブロック 吉田紀代子
第二ブロック 高橋隆太
第三ブロック 佐藤誠
第四ブロック 松本博
第五ブロック 五十里勝美
第六ブロック 吉原弘雅
第七ブロック 田中康公
第八ブロック 岩崎春江

山林組合総会報告

組合長 田中忠男

平成二十七年山林組合第四十五回定期総会が一月十八日十三時より公民館で、組合員数二百二十四名中、三十七名の出席、委任状提出者三十五名により開催されました。事績報告の主要事項として、大沢山につきましては、契約機関の延長が有りました。現在、昭和二十二年十一月五日から平成三十年十一月四日までの七十年間となつていて、ものを、変更後は平成五十年十一月四日までの九十年間と二十年間の延長をいたしました。碓氷山につきましては、碓氷併用林道下の松茸山一号区の松茸最多発生箇所である送電下に生えている赤松が、長さ約百五メートル、幅約二十五メートルに亘つて送電下支障木として三百二十七本、(材積二十二立方メートル)伐採された事による補償として、買受者へ買受代金の半額の補償が実施された事を報告後、引き続き総収入百二十六万三千六百九十八円、総支出二十万九千五百二十八円、差引残高百五万四千七百七十円の会計報告が有り、続いて監査報告がなされ質疑応答に突っ込んだが、特段意見も出ませんでした。

中之条誌編集委員会 経過報告

編集委員長 中澤賢

上田市「わがまち魅力アップ応援事業」の一環として、平成二十四年四月より編集を開始した「中之条誌」も、今年二月までに十回の編集会議を経て、今後八月までに各項目の予定ページ数の決定、来年一月からグラブリ、校正を繰り返す、その後書籍の体裁決定、出版社との打ち合わせを重ね、平成二十八年十二月発行を目指し、編集委員一同頑張つてまいります。

- 平成二十七年役員紹介
刊行会長 田中正雄
刊行副会長 西澤孝夫
編集委員長 中澤賢
編集副委員長 西澤俊郎
幹事・会計 塚田吉和
編集委員 西澤照夫
編集委員 布施誠
編集委員 西澤信義
編集委員 西澤伸夫
編集委員 三宅彰
編集委員 中澤健一
編集委員 西澤俊一
編集委員 吉原弘隆
編集委員 阿部史典
刊行支援 中澤史典
刊行支援 阿部史典
刊行支援 阿部史典
刊行支援 阿部史典

- 青少年健全育成会長 和田淳
PTA中学校支部長 丸山礼子
PTA小学校支部長 高橋勇一
ふれあい協議会会長 高田ふき子
クラブ長 高田ふき子
ソフトボールクラブ 立岩和夫
民謡クラブ 足立敏男
花と緑の会 西澤和也
謡曲クラブ 田中忠男
囲碁クラブ 桑原晃
カラオケクラブ 田中忠男
もくしい会 小沢節子
フラ・アロハ 田中すき江
中之条バックアップクラブ 塚田吉和



続いて議長選出に入り、議長に西澤敏郎氏、書記に尾崎政司氏、山岸英樹氏、議事録署名人に中沢政嗣氏・中沢俊一氏を選任後、議事に入り、二十七年山林作業、山林作業手当、退会者及び退会慰労金、組合費について一括提案し、山林作業については本年度は無事、事業は無いが予期せぬ出来事が発生し、作業が実施された場合は、大沢・碓氷山七千円、紅平山六千円と従来通りとする事、退会申し出が新道部の田中清志氏・川合重之氏・竹内強氏、柳堂部の山岸進氏・六工部の中沢卓二氏より有り、従来通りの三千円の慰労金をお支払いする事、組合費についても従来通り千五百円とする事を提案し、質疑応答に入ったが意見も無く了承されました。続いて中沢会計より百二十四万四千余の予算案が提案され、質疑応答に入ったが、意見も無く了承されました。その他の項についても特に質問、意見も無く一時間余りで総会を終了しました。

